

THE
AMBITION!

SEASON3 関係構築のロジック

恋愛屋ジュン

彼女とは何か？

今回のテーマは「付き合う」というものの正体です。

彼氏欲しいとか、彼女欲しいとか、言うじゃないですか。けど、「一体、付き合うってどういう事？」ということ考えたことがある人は、ほとんどいないんじゃないかと思います。

だからこそ「付き合う」というものの正体を考え、知って、使いこなしている人は、恋愛市場の中で相当有利な戦いが出来るのです。

だって、普通に考えたら、おかしいんですよ。

彼氏彼女って、無くても生きていけますからね。

そして、子孫繁栄の観点から見ても、若い男女が付き合うという行為は、全くの無駄に思えます。子孫残したいなら、サッサと中出しして、子供作ればいいんですからね。

理論的、論理的、生物学的、進化心理学的に考えれば考えるほど、「付き合う」という行為は、意味不明なのです。だって、彼女とデートしてる時間なんて、無駄じゃないですか？

仕事したり、勉強したり、ナニカ世のため人のためになる行動をした方が、絶対に生産的です。

しかし、現代では、「彼氏が欲しい」という女性が後をたたないし、彼女欲しいという男子が後を絶ちません。

そして、パートナーがいるやつの方が、エライし、スゴい。という、不文律(一般に広まった価値観)すらあります。

もう、いみわからん!!!笑

と、なってしまふような「付き合う」という行為、価値観。

一体その行為にどんな意味があるのか…

その真実を、今日はお伝えしようと思います。

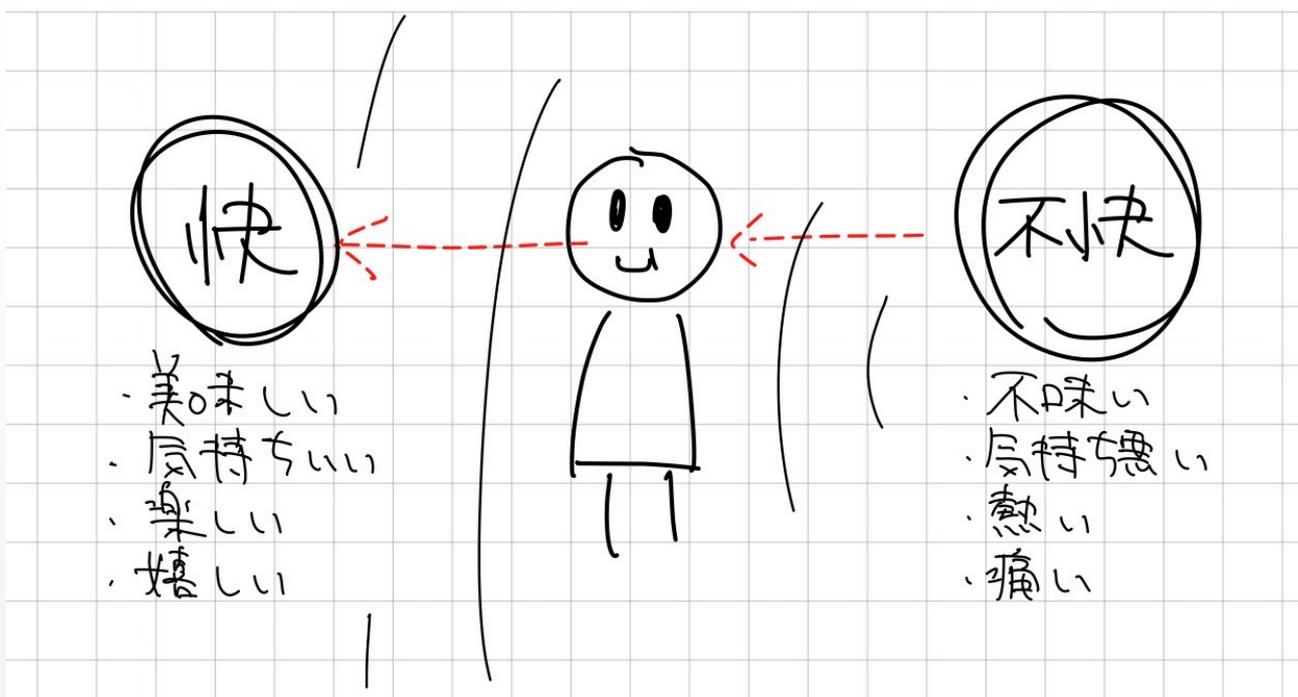
正直、決してYouTubeやTwitterでは出せないような、ヤバい話です。あまり他言しないように。そっと、自分の脳内に留めておいてください。

ようこそ、この世界の真実へ・・・

快と不快

全ての動物には「快」と「不快」という機能が備わっています。そして、本能的に快を享受する行動を取り、不快を避ける行動を取ります。

これが、人間ないし、全ての動物の行動原理です。



この「快」と「不快」の正体は、

- ・ 快を享受する行動を取り続けると、生存と繁殖に有利になる
- ・ 不快を避ける行動を取り続けると、生存と繁殖に有利になる

というものです。

Ambition!の序盤の方でお伝えしましたが、動物本能の基本原理は、死にたくないという”生存”と、子孫を残したいという”生殖”の2つです。

その本能目標を達成するために、僕たちは進化の過程で、快と不快という機能を獲得したのです。

進化というのは、素晴らしいですよ。

だって、本能目標を達成するために必要な行動を取っていれば、一生涯
快樂に満たされた時間を過ごせるのですから・・・

しかし、人間は、賢くなりすぎました。

代償を払うこと無く、快を享受する方法を開発したのです。

その方法の最たるものが「避妊器具」です。

僕らの全身に強烈な快感を走らせるセックスは、子孫を作るためのものです。セックスが気持ちいいからこそ、人類は子孫を生み、個体数を増やしてこれたのです。

しかし、

セックスの快樂だけ受け取って、
妊娠の代償を取らない

という手法を、人類は編み出してしまったのです。

人間は、無限にセックスの快樂を享受し続けることが可能になりました。しかも「子供をつくることなく」です。

…なんだか、恐ろしい話ではないですか？

だって、今社会問題になっているのは、人口減少、少子高齢化。

意味わかります？

人口減少の最大の原因は、避妊です。そして、無限に味わえるセックスの快楽に、人間がドブプリハマっていったのです。

そして同様に「付き合う」というシステムも、避妊器具の発達に付随して編み出された、最大の無限快楽享受システムです。

脳の機能をハックして、欲求のみを満たし、代償を受け取らない…

要するに付き合うというのは「疑似結婚」なのです。

人間は、オスとメスがつがいになり、お互いに協力して子を育てるというシステムで動いています。なので「男女が一緒になる」という行動を取った時、人間の脳は「快」を感じるようになっています。

今で言う、結婚です。

DNAの中には「戸籍」とか「入籍」という概念は無いので、そこにあるのは、お互いの意思確認のみ。

オス「俺の子を生んで、一緒に育てて行けるか？」

メス「うん、もちろん」

これで、婚約成立です。

その瞬間に、全身に爆発的な快樂が駆け巡ります。

子孫繁栄に、一步近づいた瞬間です。

この、強烈な快樂を、人間はまたも、代償を払わずに享受するシステムを発見してしまいました。それが「付き合う」という概念です。

「生涯を共にするわけではないが、擬似的に結婚生活を体験してみる」という悪魔的発想が世の中に広まったおかげで、人間は何度でも恋愛を繰り返せるようになったのです。

本来、生涯の中でたった1回だけ味わえる強烈な快感を、何度も味わえてしまう、贅沢な世界に、僕たちは生きています。

その結果、僕らは、恋愛に支配されてしまったのです。

寝ても冷めても異性の事を考えてしまい、

モテるために多額の時間とお金と労力を消費し、

彼氏彼女のために多額の時間とお金と労力を消費し・・・

そんな現実を、生きています。

子孫繁栄には必要ないし、社会貢献にすらならない。この世界に、不要な存在。むしろ、人類を衰退させ、破滅へと導く存在。

これが、恋愛屋としての活動と研究を重ねて、辿り着いてしまった、恋愛の正体でした。

GHQによる「3S政策」

戦後、日本にマッカーサー率いるGHQがやって来ました。そこで展開されたのが「3S政策」です。

- Sports(スポーツ)
- Sex(恋愛)
- Screen(映画、テレビ)

この3つを日本中に広めたのです。

どうして、この3つを広めたのか、分かりますか？

GHQの目的はただ1つ。日本の弱体化です。

当時、小国ながらにして、世界中の猛者たちを倒しまくっていた、恐るべき存在「ニッポン」を、弱らせるために、GHQはやってきました。

流石は、軍事トップが編み出した政策です。

どんな文化を普及されせば弱体化するのか、しっかり分かっていたのでしょ。それが「Sports、Sex、Screen」だったのです。

この3つの共通点は「疑似体験」です。

スポーツは、戦争、人殺しの疑似体験。

恋愛は、生殖活動の疑似体験。

映画は、異世界の疑似体験。

この3つは、全て人間に強烈な快楽を与えます。

・ Sports(人殺し)

我々「ホモ・サピエンス」は、人殺しによってこの世界を支配するに至りました。もともと人類は6種類ほどいたと言われています。

北京原人とか、ネアンデルタール人とか、聞いたことあると思います。

けど、私達ホモ・サピエンス意外の種族は、絶滅しました。絶滅の理由は「ホモ・サピエンスによる皆殺し」です。アフリカで生まれた私達の祖先は、世界中に広がり、現地にいた他の人類を殺しまくったのです。

だから、私達の中には「人を殺すと、快楽を感じるスイッチ」があります。この世から殺人がなくならないのは、こういう理由です。

ただ、実際、人殺しはよくない行為。

だから人類は、擬似的に人殺し（誰かよりも自分の脳力や力が、優れていると実感できる行動）を体感できるゲームを編み出したのです。

スポーツは、人と人が争い、勝敗を決めるゲームです。

どちらかが勝ち、どちらかが負けます。

勝った瞬間の快樂は、とてつもないものがあります。

だから、ハマるのです。

だから、部活というシステムを普及させ、幼い頃からスポーツに親しみ、その快樂を味あわせておく。すると、子供はスポーツにハマり、勉強をしなくなり、そして身体は「スポーツで勝利するために最適化されたもの」に成長します。

これにより、戦争にむいていない国民が量産されたのです。

いい悪いは置いといて、そういう歴史が実際にあったということは、知っておいてもいいんじゃないかと思います。

・ Sex(恋愛)

同時に輸入されたのが「恋愛」の文化です。そもそも、付き合うというシステムが日本に輸入されたのは大正時代。ごく最近です。

そして、それが戦後に一気に広がります。

同時に、天皇陛下や有名芸能人が派手な結婚式を執り行い、そして次々と結婚式場がオープンしました。

同時にテレビドラマでは、男女の恋を描いたものが放映され、同時に「夜景を見ながら男女で食事を楽しむ、やや高級なレストラン」が多数オープンしました。

本当にやり方は単純で、マスコミを使って憧れを頂かせ、その憧れを実現する施設を作る。というやり方、それだけです。

・ Screen(映画)

映画では、ファンタジーを体感できます。現実とは別の世界にトリップし、日常では決して味わえない世界を体感できるのです。

要は、現実逃避。

家に帰ってから、映画やドラマを見て、現実逃避。

バラエティ番組を見て、現実逃避。

休日は映画を見て、現実逃避。

そうやって「無駄な時間」を過ごさせることによって、日本人を徐々に弱体化させていったのです。

...

実際に、そういうことが歴史的に行われたという事実があります。

(とはいっても、GHQ最低とか、そういうことが言いたいのではないですよ。ただ、そうやって「価値観は、他人によって作られている」という事実は知っておいてください)

僕らは、恋愛と、どう向き合うべきか

というわけで、ここまでは散々な、絶望としか言いようがない事実を淡々と語ってきましたが・・・

何が言いたかったのかと言うと、

ボーッと、ただ欲望に任せて、

「モテたい」

「セックスしたい」

と言って行動し続けるのは、**下級国民のすることです**。その行動の先にあるのは「弱体化」です。使い物にならない、いてもいなくてもいい。そんな人間に成り下がってしまいます。

僕は、そういう男を、この世からなくし、

自ら考え、前向きに行動し、未来を切り開き、関わる人、関わる女性を幸せにできる男を増やしていきたいのです。

じゃないと、日本どころか、人類終わりますからね。

「The Ambition!」は、人類救済政策です。

まあ、僕個人が出来ることなんて限られていますが。けど、少しでも、そういう男が増えてくれたら、これほど嬉しいことはありません。

そして、恋愛屋ジュンがこの世に存在したことで、1人でも救われた人がいるのなら、やった意味はあるんじゃないかと思います。

...

結局、恋愛というのは、暇つぶしのゲームなのです。

その事実は、忘れないでください。

だから、暇つぶしゲームで、いちいち悩んだり、落ち込んだり、自信をなくしたり・・・って、馬鹿らしいじゃないですか。

だって、ポケモンバトルに負けて「俺には価値がないんだ…俺はダメな人間なんだ…」って、バカでしょ？

それと同じくらい「モテないから、俺には価値がないんだ・・・」というのは、アホなことです。笑

それを踏まえた上で、

恋愛は、使えばいいんです。

僕は、恋愛活動のことを「女修行」と呼んでいます。

恋愛は、女性との関わりを通じて、己を成長させ、誰かの役に立つ能力を獲得し、強くて魅力的な男になる「修行」です。

そういう価値観が広まってくれたら、もっともっと、日本は素敵な人達と、素敵なカップルで満たされると思うんですよね。

だから、これからも、上を目指していきましょう。

恋愛が、人生の全てではありません。

あなたの人生の、あなたの男としての成功の、ファーストステップに、女修行があります。もちろん、その先にも、試練や課題は沢山降ってくるでしょう。

それらを1つ1つ乗り越え、成長していった先に、

男として生まれた ” 志 ” の達成が、

あるんじゃないかと思います。

ぜひ、より高いステージに、一緒に行きましょう。

女修行を乗り越えた、最高に魅力的な男たちで。

恋愛屋ジュン